

地しんについて知ろう



大きな本だながたおれて
います。地しんで大地が大
きくゆれたためです。

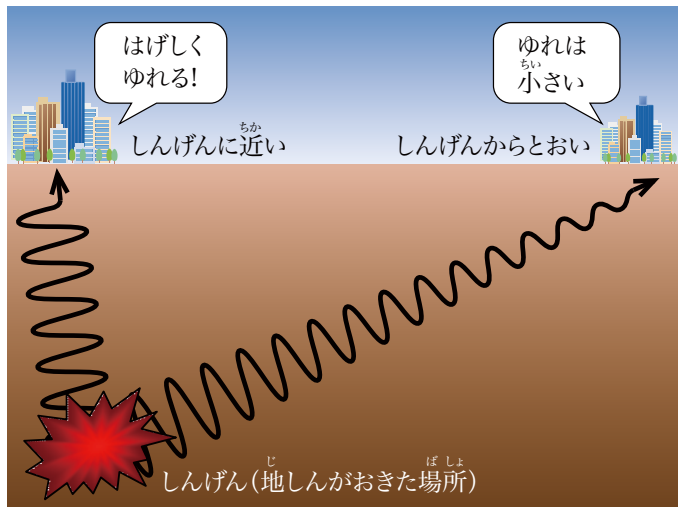
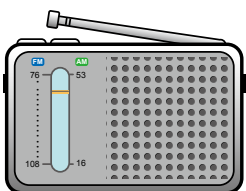
地しんのゆれはどのよう
につたわるのでしょうか。

地しんはどんなところで多くおきているのでしょうか。
地しんについてしらべてみましょう。

1 地しんを知ろう

地しんは、大地の下の深いところでおきます。そのとき
のゆれが地めんにつたわって、わたしたちは地しんをかん
じることとなります。地しんがおきた場所のことを「しん
げん」といいます。しんげんが近いと、はげしいゆれにな
り、遠いとゆれは小さくなります。

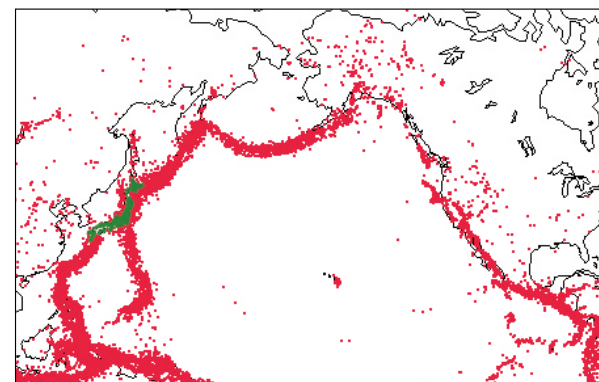
ただいまの
地しんの
しんげんは...



しんげんのゆれのつたわり方

2 地しんが多いところ

地しんはせかい中どこでも同じようにおきるのしょう
か。それとも、場所によってちがいはあるのでしょうか。
下の地図でたしかめましょう。



地しんがよくおこる場所

(赤いしるしは大きな地しんがおきた場所、
みどり色は日本をあらわしています。)

日本とそのまわりでは、多くの地しんが
おきていることがわかります。

どうやら、地しんが
よくおきる場所は
きまっているようだね。



おばあちゃんがゆれたときの話をして
くれた。おばあちゃんのおなかの上
にテレビがおちてきたそう。おばあ
ちゃんが苦しんでいると、おじいちゃ
んがテレビを持ち上げてくれた。おじ
いちゃんが「ゆれていっしゅんのうち
にペしゃんこになった。一かいがつぶ
れてドアが開かなかったから、ガラ
スをトンカチでわって出た。」と話
してくれた。
(神戸市の六年生の作文から)

地しんのが大きく、
しんげんとわたしたちの
すんでいる場所が近い
と、この作文のように強
いゆれをかんじることが
あります。

地しんのゆれの強さを
数字であらわしたものを
「しんど」といいます。
しんどは0から7まであ
り、7がさい大です。